

## 基本構想骨格案（事務局イメージ）

- 1 はじめに  
背景、円山動物園のおかれている現状...
  - 2 これからの動物園の役割  
4つの目的と生物多様性...
  - 3 札幌市における円山動物園の役割
    - ・環境基本条例、グリーンベルト、都市こそ自然との融和を...
    - ・環境教育の拠点
    - ・命の大切さ、愛、地元を思う気持ちなどメッセージを伝える機能
  - 4 基本理念  
「(例)人と動物と環境をつなぐ絆をつくる動物園」
  - 5 3つの柱
    - わたしの動物園へ
    - サポーター制度、大量消費ではなく感動体験へ...
    - 生物多様性
    - 環境教育プログラムと種の保存の取組み、野生復帰...
    - 円山エリア
    - まちづくり、エネルギーの効率的活用...
- < 構想の取組期間 >  
平成23年度までを集中取組期間とし、その後も理念を継承しつつ、環境変化に応じて変更を加える...
- 6 事業展開の方向性（ソフト）  
集客（シニア、LOHAS、父子、都会の休憩所）観光、  
時間帯・季節の売出し、プロモーション、サポーター制...

7 展示・施設の方向性（ハード）

- ・ エントランス、動線から総合的なデザイン...
- ・ ゾーニングと動物福祉、近くでゆっくり生き生き見せる...
- ・ 地元の動物、自然の動物...
- ・ 周辺交通環境、アクセスの問題解決...
- ・ 円山川、原始林との融合...
- ・ エネルギーの効率的活用...
- ・ 園内の利便性向上（食堂売店、トイレ、バリアフリー）...

パース絵を挿入する

8 持続可能な経営の方向性（マネジメント）

単年度黒字経営を目指して

料金、廃止、休日設定、広告導入、節約、委託見直し...

経営体制

トップマネジメント強化、職員参加と挑戦する文化...

運営主体、外部経営委員会

簡単な収支分析をグラフで

9 将来課題

（今回の積み残し、将来の夢...）

10 リスタート委員会名簿、活動概要

～以上～